# ネットゼロを誓約している国と国以外

120か国以上と3000以上の非国家主体

COP26へ向けた

レーストゥゼロキャンペーン







企業:1391社

投資家:74

都市: 454

地域:23

大学:569

<企業・投資家関連>

BUSINESS 1.5°C

**NET ZERO ASSET MANAGERS** INITIATIVE

United Nations-convened Net-Zero Asset Owner Alliance





<日本からの各主体が参加可能>

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \ Race to Zero Circle

非国家主体

## Race to Zeroの要件



### Promoting greater convergence around leadership practices (substantive criteria)

Over time, all entities' net zero plans should become stronger and more concrete, as action toward net zero accelerates. Already, a number of points of strong consensus have emerged across the climate action community, as described in the middle column of the table below.

After a series of consultations, the High-level Climate Champions call on all actors setting net zero targets to move toward leadership practices and to work together to address open questions.

In particular, building on key areas of convergence in the dialogues convened by Oxford University in April-May 2020, "Net Zero" pledges to be included under the Race to Zero campaign should:

- Cover all emissions, including Scope 3 for businesses and investors where they
  are material to total emissions and where data availability allows them to be
  reliably measured, and all territorial emissions for cities and regions.
- Alongside immediate abatement measures, potentially including external opportunities, transition to limiting offsets to neutralize "residual" emissions.
   Offsets portfolios should transition to permanent removals by the time net

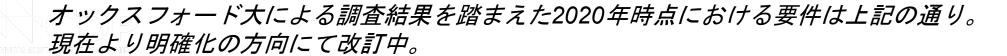
レース・トゥ・ゼロキャンペーンのもとの誓約は、

- 企業と投資家については、合計排出について重要 である場合、そしてデータが十分整う場合、ス

コープ3を含めたすべての排出量をカバーすべき

である。都市と地域については領土における排出

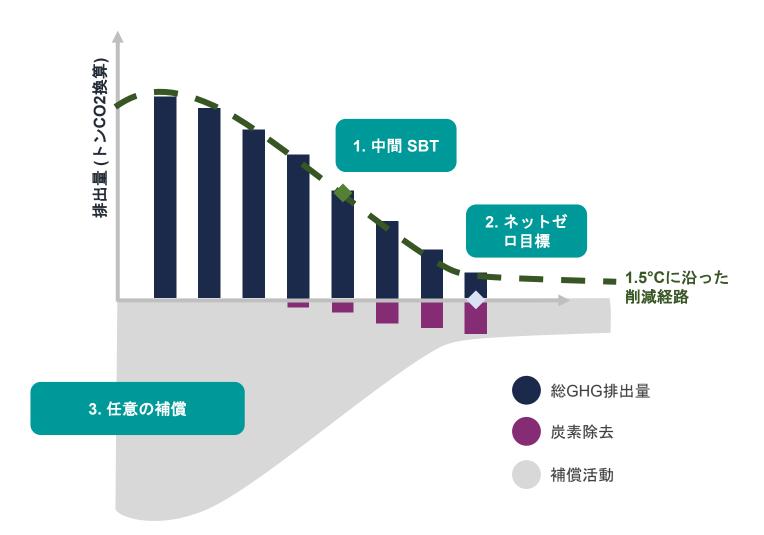
をすべてカバーすべきである。



### ネットゼロ要件

#### 概要





- 中間のSBTは必須: 要件(目標水準、バウンダリ等)に合致する中間のSBTsを保有する必要がある(shall)。
- 2. ネットゼロ目標: バリューチェーン排出 量の大幅な脱炭素化&残存排出量をすべ て中和する炭素除去
- 3. 任意の補償: 移行の途中で排出した分について、気候、人々、自然に定量化可能な便益をもたらすプロジェクト、プログラム、解決策に対して、毎年の支援をすることによって、補償を行うことを推奨。

### ネットゼロ要件

### 概要



#### 対応戦略

企業のバリューチェーン内

企業のバリューチェーン外

#### 削減

企業がバリューチェーン 内におけるGHG排出源を、 予防、削減、除去する手 段

#### 補償

企業がバリューチェーン <u>外</u>におけるGHG排出源を、 予防、削減、除去する手 段

#### 中和

企業が、バリューチェーン内において削減されずに残っている排 出源の影響を打ち消すべく大気中からの炭素を除去するためにと る手段

#### 対応結果

#### 脱炭素化

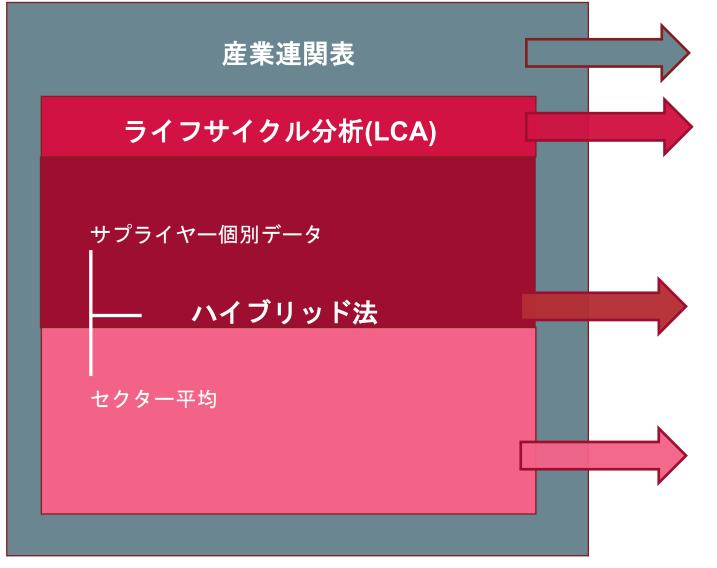
森林減少や土地利用変化による 排出を減らす

CO<sub>2</sub>以外のGHG排出の最小化

大気からの二酸化炭素除去 (CDR)

# スコープ3上流の算定方法

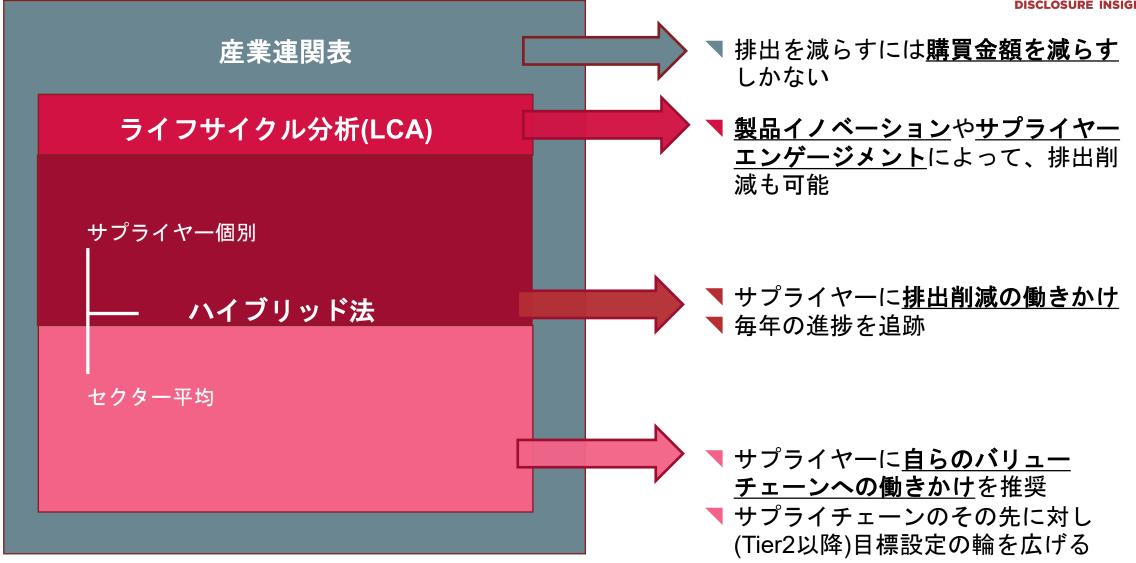




- ▼ スコープ3上流の100%をカバー
- ◥ 概略がわかる
- ▼ 重要なカテゴリがどれかがわかる
- ▼排出の大きい限られた数の財に適用 するには大変すばらしい
- ▼ 正確・良質なデータである
- ▼ 原材料採掘から使用・廃棄まで
- ▼ サプライヤーデータ+産業平均
- ▼ サプライヤーの操業時の排出(スコープ1,2)
- ▼ 最新+粒度が細かい
- ▼ データ品質には課題がある
- ▼ サプライヤーの上流排出 (カテゴリ1,2)
- ▼ サプライヤーが自らのスコープ3を計算 する

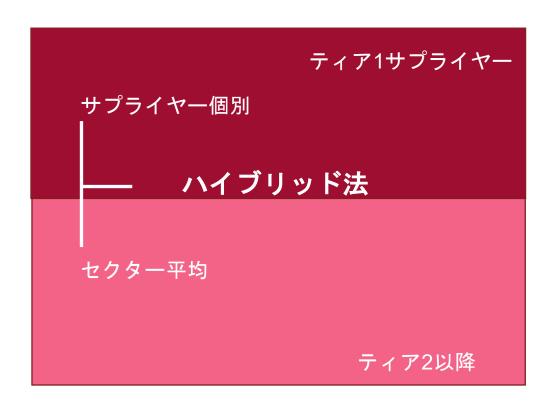
# それぞれの手法における削減の方策





# ハイブリッド法 一次データ+産業平均





- 1. サプライヤーを選択
- 2. 定量的データをチェックする
  - ▼ 配分された排出量(allocated)
  - ▼ 排出原単位
- 3. 一次データまたはセクター平均を選択
- 4. 配分された排出量、ないしは原単位に 購買金額をかけて、選択したサプライ ヤーの排出量を計算
- 5. 購買金額の100%となるようにする(例:対象が80%の場合、4にて計算された排出量\*100/80)